

高さ 2m 32cm 5度目の奇跡！

世界最大級の「花」ショクダイオオコンニャク咲きました

係員の誘導にしたがってご見学くださいますようにご協力をお願いいたします。



1月18日(土)22時半

ショクダイオオコンニャク (*Amorphophallus titanum*)

インドネシア・スマトラ島の限られた場所に生える、サトイモ科の植物です。巨大な花の集まり（花序）は、高さ3m、直径1m以上にもなり、世界で最も大きい花序をつける植物のひとつです。ギネスブックで認定された世界最大の記録は高さ3.1mです。

2020年（令和2年）1月18日（土）開花

- ◎同じ株が1年おきに5度も咲くのは日本初
- ◎日本での開花は19例目（当園では5回目）
- ◎花序のサイズ：高さ 2m 32cm、直径 86cm（21時半）
- ◎塊茎（イモ）のサイズ：重量67kg、直径71cm、厚さ30cm

プロフィール

1992年 小石川植物園で播種

2006年 当園に受け入れ

〈葉の生育と休眠を数回繰り返す〉

2012年 5月 25日 第1回開花

◎花序のサイズ：高さ 2m 6cm、直径 93cm

◎塊茎(イモ)のサイズ：重量34kg、直径51cm、厚さ32cm

2014年 7月 3日 第2回開花

◎花序のサイズ：高さ 2m72cm、直径 108cm、

◎塊茎(イモ)のサイズ：重量70kg、直径66cm、厚さ42cm

2016年 8月 14日 第3回開花

◎花序のサイズ：高さ 2m38cm、直径 101cm、

◎塊茎(イモ)のサイズ：重量65kg、直径63cm、厚さ32cm

2018年 6月 26日 第4回開花

◎花序のサイズ：高さ 2m40cm、直径 106cm、

◎塊茎(イモ)のサイズ：重量76kg、直径73cm、厚さ36cm

〈開花後、葉が生育開始〉

2019年 9月 葉が倒れ休眠に入る

2019年 11月 6日 植え替え

案内
マップ

↑ 順路で進むことができます

順路にそって
お進みください

❗ 印の部分から入ってご見学することはできません。

熱帯雨林温室の入口は2階です。車イス、ベビーカーご利用の方、階段の昇降が困難な方は★印1階入口より入場できます。

コンニャク
新聞



開花
2020年
(令和2年)
1月18日(土)

ショクダイオオコンニャク Q&A

Q: コンニャクは作れますか？

A: 作れます。食用のコンニャクイモ1kgで板コンニャク16~18枚ができるので、67kgの今回のイモからは1072~1206枚できる計算になります。

Q: 花が終わったらどうなりますか？

A: 花は倒れます。しばらくするとイモから葉芽が出て、高さ4mくらいの葉が広がります。

Q: 世界最大の花はラフレシアではないのですか？

A: 1つの花としてはラフレシアが最大で、直径1メートルほどになります。ショクダイオオコンニャクは、1つの花のように見えますが、正確には花序（花の集まり）で、タンポポのようにたくさんの小さな花が集まって咲きます。

Q: じつはよく咲く植物なのでは？

A: これだけ頻繁に咲くとそう思われるかもしれませんが、同じ個体が8年で5回も開花するのは、国内では筑波実験植物園だけで、世界的にみても稀なのです。



第36回 国立科学博物館 筑波実験植物園 植物画コンクール 入選作品展

〈開園時間〉 9時~16時30分 ※入園は16時まで
 〈休園日〉 2/10(月)・2/12(水) 2/17(月)

2020年
2/8 ▶ 2/24
(土) (月)